

取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

年度	令和4年度
タイトル	高齢者の自立支援，介護予防，重度化防止の推進及び介護給付の適正化
区分(あてはまるものにチェックを)	☒ 自立支援，介護予防，重度化防止 ☒ 介護給付適正化

現状と課題

当町では宅地造成及びマンションの建設により人口が微増するとともに、高齢化率も増加している。

その中で、特に75歳以上の後期高齢者人口が急激に増加している状況である。

このことにより、介護を受ける人の増加が見込まれ、高齢者の自立支援、介護予防、重度化防止対策が課題となっている。

【海田町人口】 30,097 人 (R2.3 末) 30,387 人 (R3.3 末)

30,436 人 (R4.3 末) 30,573 人 (R5.3 末)

【後期高齢者数】 3,531 人, 11.7% (R2.3 末) 3,639 人, 12.0% (R3.3 末)

3,734 人, 12.3% (R4.3 末) 3,912 人 12.8% (R5.3 末)

【介護認定者数】 1,197 人 (R2.3 末) 1,217 人 (R3.3 末)

1,225 人 (R4.3 末) 1,234 人 (R5.3 末)

第8期における具体的な取組

① 住民主体の地域づくりの推進, ② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施, ③ 介護予防の仕組みづくりの推進

○高齢者いきいき活動ポイント事業の実施

○保健事業と介護予防の一体的な取り組みの推進 ○いきいき百歳体操の普及

④ 自立支援型ケアマネジメントの推進

○自立支援型ケア会議の継続的な実施

⑤ 介護給付の適正化

○ケアプラン点検の実施

目標（事業内容、指標等）

・高齢者いきいき活動ポイント事業の参加率

(R3) 30% $\Rightarrow$ (R4) 31% $\Rightarrow$ (R5) 32%

・いきいき百歳体操の開催個所数

(R3) 26 箇所 $\Rightarrow$ (R4) 28 箇所 $\Rightarrow$ (R5) 30 箇所

・第1号被保険者の要支援1・2の認定率

(R3) 4.3%未満 $\Rightarrow$ (R4) 4.3%未満 $\Rightarrow$ (R5) 4.3%未満

- ・自立支援型ケア会議でのケース検討数

(R3) 45 ケース $\Rightarrow$ (R4) 47 ケース $\Rightarrow$ (R5) 49 ケース

・ケアプラン点検の実施事業所数（実施済数）

(R3) 町内全事業所⇒ (R4) 町内全事業所⇒ (R5) 町内全事業所

目標の評価方法

● 評価の方法

- ・ 高齢者いきいき活動ポイント事業
参加率が目標値を達成しているか。
- ・ いきいき百歳体操
実施個所数が目標値を達成しているか。
- ・ 第 1 号被保険者の要支援 1・2 の認定率
認定率が目標値を達成しているか。
- ・ 自立支援型ケア会議の開催数
会議でのケース検討数が目標値を達成しているか。
- ・ ケアプラン点検事業所数（実施済数）
点検の実施事業所数が目標値を達成しているか。

取組と目標に対する自己評価シート(自己評価結果)

(実績評価)

実施内容

① 住民主体の地域づくりの推進, ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施, ③ 介護予防の仕組みづくりの推進

○高齢者いきいき活動ポイント事業の実施

令和4年1月から事業を開始し, 65歳以上の高齢者が参加する介護予防活動や地域活動に対してポイントを付与することで, 健康寿命の延伸, 高齢者の介護予防及び社会参加を推進した。

(対象者数: 7,254人)

(R4参加者数: 2,625人)

(R4参加率: 36.2%)

○保健事業と介護予防の一体的な取り組みの推進

高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施するため, 事業全体をコーディネートする専属の専門職を配置し, 国保データベースシステム等の医療情報や介護情報から75歳以上の健康状態不明なハイリスク高齢者を抽出し, 個別訪問することで保健事業及び介護予防事業に繋げた。

また, 通いの場(いきいき百歳体操)へ専門職を派遣し, 栄養指導等を行うことで介護予防を推進した。

(R4健康状態不明者数: 46人)

(R4専門職派遣支援回数: 56回)

○いきいき百歳体操の普及

リハビリテーション専門職(作業療法士又は理学療法士)及び保健師により住民主体の通いの場(いきいき百歳体操)の立ち上げを支援した。また, 立ち上げ後も定期的(3か月後, 1年後)に支援した。

(R4新規実施場所: 5箇所)

(R4専門職派遣支援回数: 40回)

④ 自立支援型ケアマネジメントの推進

○自立支援型ケア会議の実施

自立支援に資するケアマネジメントを利用者に提供するため, 多職種による自立支援型ケア会議を実施した。(R4: 6回実施, 21ケース検討)

⑤ 介護給付の適正化

○ケアプラン点検の実施

適正なケアプランであるかを確認するため, 居宅介護支援事業所に出向いてケアプラン点検を実施した。(R4: 実施なし)

自己評価結果 【 】←(◎, ○, △, ×のいずれか※を記載してください。)

- ・高齢者いきいき活動ポイント事業の参加率【自己評価：◎】
(R4) 31% (計画) ⇒36.2% (実績)
- ・いきいき百歳体操の開催個所数【自己評価：◎】
(R4) 28 個所 (計画) ⇒33 個所 (実績)
- ・第1号被保険者の要支援1・2の認定率【自己評価：◎】
(R4) 4.3%未満 (計画) ⇒4.25% (実績)
- ・自立支援型ケア会議でのケース検討数【自己評価：×】
(R4) 47 ケース (計画) ⇒21 ケース (実績)
※新型コロナウイルス感染症予防対策等のため全12回中6回が会議中止
- ・ケアプラン点検の実施事業所数 (実施済数)【自己評価：×】
(R4) 町内全事業所 (計画) ⇒実施なし (実績)
※実施予定の事業所にて新型コロナウイルス感染症が発生したことから、実施できなかった。

課題と対応策

- ・高齢者いきいき活動ポイント事業の実施
事業に参加されていない方に対し、広報やホームページ等で事業を広く周知し、参加率の向上に努める。
- ・保健事業と介護予防の一体的な取り組みの実施
健康状態不明者に対し、定期的な健康診査の受診を促し、重度化防止を図る。
- ・いきいき百歳体操の実施
いきいき百歳体操の未実施地区があることから、実施に向けての働きかけ及び支援を行うとともに、既に実施している場所については、継続的に活動できるよう支援を行う。
- ・自立支援型ケア会議の実施
ケアマネジャーのケアプラン作成能力の向上及び規範的統合が必要であり、会議を継続して実施することで課題の解決を図る。

※「◎達成できた、○概ね達成できた、△達成はやや不十分、×全く達成できなかった」